【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公開番号】特開2008-142479(P2008-142479A)
【公開日】平成20年6月26日(2008.6.26)
【年通号数】公開・登録公報2008-025
【出願番号】特願2006-336397(P2006-336397)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/055　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/34　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/48　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/05　３８２
Ａ６１Ｂ　5/05　３５０
Ｇ０１Ｎ　24/04　５２０Ａ
Ｇ０１Ｎ　24/08　５１０Ｙ

【手続補正書】
【提出日】平成23年2月14日(2011.2.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の領域に磁気共鳴現象を生じさせる第１のＲＦコイルと、
第２の領域に磁気共鳴現象を生じさせる第２のＲＦコイルと、
上記第１のＲＦコイルと上記第２のＲＦコイルを駆動するＲＦコイル駆動部と
を有し、
上記ＲＦコイル駆動部が、上記第１のＲＦコイルを駆動し、上記第１の領域が飽和された後、上記第２のコイルを駆動することにより、上記第１の領域からの磁気共鳴信号が抑制される
ＭＲＩ装置。
【請求項２】
上記ＲＦコイル駆動部が、傾斜磁場が印加されておらず、静磁場のみが印加されているときに、上記第１のＲＦコイルを駆動する
請求項１に記載のＭＲＩ装置。
【請求項３】
上記ＲＦコイル駆動部が、静磁場と傾斜磁場が印加されているときに、上記第１のＲＦコイルを駆動する
請求項１に記載のＭＲＩ装置。
【請求項４】
上記ＲＦコイル駆動部が、空間飽和法、選択的前飽和法、または磁化移動法のいずれかの方法に基づいて、上記第１のＲＦコイルと上記第２のＲＦコイルを駆動する
請求項１から請求項３のいずれか１項に記載のＭＲＩ装置。
【請求項５】
２個以上のコイルで構成されるＲＦコイルと、
上記ＲＦコイルに含まれる個々のコイルを別々に駆動できるＲＦコイル駆動部と

を有し、
上記ＲＦコイル駆動部が、上記ＲＦコイルに含まれる一部のコイルを駆動し、当該一部のコイルに、第１の領域に磁気共鳴現象を生じさせるためのＲＦパルスを送信させ、当該第１の領域が飽和された後、上記ＲＦコイルに含まれる全てのコイルを駆動し、当該全てのコイルに、第２の領域に磁気共鳴現象を生じさせるためのＲＦパルスを送信させることにより、当該第１の領域からの磁気共鳴信号が抑制される
ＭＲＩ装置。
【請求項６】
上記ＲＦコイル駆動部が、傾斜磁場が印加されておらず、静磁場のみが印加されているときに、上記ＲＦコイルに含まれる一部のコイルを駆動する
請求項５に記載のＭＲＩ装置。
【請求項７】
上記ＲＦコイル駆動部が、静磁場と傾斜磁場が印加されているときに、上記ＲＦコイルに含まれる一部のコイルを駆動する
請求項５に記載のＭＲＩ装置。
【請求項８】
上記ＲＦコイル駆動部が、空間飽和法、選択的前飽和法、または磁化移動法のいずれかの方法に基づいて、上記ＲＦコイルを駆動する
請求項５から請求項７のいずれか１項に記載のＭＲＩ装置。
【請求項９】
第２の領域に磁気共鳴現象を生じさせる第２のＲＦコイルとは異なり、第１の領域に磁気共鳴現象を生じさせるＲＦコイルであって、
上記第２のＲＦコイルによって上記第２の領域に磁気共鳴現象を生じさせるためのＲＦパルスが送信される前に、上記第１の領域に磁気共鳴現象を生じさせるためのＲＦパルスを送信し、上記第１の領域からの磁気共鳴信号を抑制するために用いられる
ＲＦコイル。
【請求項１０】
２個以上のコイルで構成されるＲＦコイルであって、
上記ＲＦコイルに含まれる一部のコイルによって第１の領域に磁気共鳴現象を生じさせるためのＲＦパルスを送信し、当該第１の領域が飽和された後、上記ＲＦコイルに含まれる全てのコイルによって第２の領域に磁気共鳴現象を生じさせるためのＲＦパルスを送信することにより、当該第１の領域からの磁気共鳴信号を抑制し、当該第１の領域を除く当該第２の領域から磁気共鳴信号を生じさせるために用いられる
ＲＦコイル。
【請求項１１】
第１の領域に磁気共鳴現象を生じさせる第１のＲＦコイルと、第２の領域に磁気共鳴現象を生じさせる第２のＲＦコイルと、当該第１のＲＦコイルと当該第２のＲＦコイルを駆動するＲＦコイル駆動部とを有するＭＲＩ装置における磁気共鳴信号抑制方法であって、
上記ＲＦコイル駆動部が、上記第１のＲＦコイルを駆動し、
上記第１の領域が飽和された後、上記ＲＦコイル駆動部が、上記第２のコイルを駆動することにより、
上記第１の領域からの磁気共鳴信号が抑制される
磁気共鳴信号抑制方法。
【請求項１２】
２個以上のコイルで構成されるＲＦコイルと、当該ＲＦコイルに含まれる個々のコイルを別々に駆動できるＲＦコイル駆動部とを有するＭＲＩ装置における磁気共鳴信号抑制方法であって、
上記ＲＦコイル駆動部が、上記ＲＦコイルに含まれる一部のコイルを駆動し、当該一部のコイルに、第１の領域に磁気共鳴現象を生じさせるためのＲＦパルスを送信させ、
上記第１の領域が飽和された後、上記ＲＦコイル駆動部が、上記ＲＦコイルに含まれる

全てのコイルを駆動し、当該全てのコイルに、第２の領域に磁気共鳴現象を生じさせるためのＲＦパルスを送信させることにより、
上記第１の領域からの磁気共鳴信号が抑制される
磁気共鳴信号抑制方法。